

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年9月18日朝刊

## ウミガメ上陸

御前崎の海岸

### 過去最少50匹

#### 砂浜減、産卵周期影響か

御前崎市の海岸に5〜8月に上陸したアカウミガメの数が、記録の残る1981年以降で最も少なかったことが17日までに明らかになった。市のウミガメ保護監視員や調査団体は、卵を産むことができない砂浜の減少や産卵周期が影響したと推測する。

アカウミガメは絶滅危惧種。市の委嘱を受けた保護監視員は毎年5〜8月の産卵期に卵を採取してふ化場に運んでいる。市によると今年の上陸は50匹で、これまでの最少だった2019年の20年の82匹を下回った。特に海岸の一部が産卵地として国の天然記念物に指定されている旧御前崎町域は卵シーズンではおおよそ3上陸14匹、うち産卵が7匹に回に分けて卵を産むが、1

と極端に減った。20年以上保護監視員を務める高田正義さん(87)は「砂浜は年々減っている。今年は流木やごみも多く、カメが上陸できるところは少なかった」と話す。NPO法人日本ウミガメ特に関心する母ガメが局長は「産卵する母ガメがまた少ない年だったかもしれない。引き続き来年、再来年の数を見ていきたい」と話す。

上陸したアカウミガメの足跡。産卵をせずに海に帰ることも多い19月、御前崎市



(御前崎支局・木村祐太)

- ①アカウミガメの産卵期はいつですか。( )
- ②グラフから見て、御前崎市のウミガメの上陸頭数はどのような傾向があると言えますか。( )
- ③2021年のウミガメの上陸が過去最少だった要因として考えられることを記事から読み取って書きましょう。( )

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／理科、総合)



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年9月18日朝刊

## ウミガメ上陸

御前崎の海岸

## 過去最少50匹

### 砂浜減、産卵周期影響か

御前崎市の海岸に5〜8月に上陸したアカウミガメの数が、記録の残る1981年以降で最も少なかったことが17日までに明らかになった。市のウミガメ保護監視員や調査団体は、卵を産むことができる砂浜の減少や産卵周期が影響したと推測する。

アカウミガメは絶滅危惧種。市の委嘱を受けた保護監視員は毎年5〜8月の産卵期に卵を採取してふ化場に運んでいる。市によると今年の上陸は50匹で、これまでの最少だった2019年の20匹の82匹を下回った。特に海岸の一部が産卵地として国の天然記念物に指定されている旧御前崎町域は卵シーズンではおおむね3上陸14匹、うち産卵が7匹に回に分けて卵を産むが、1

と極端に減った。20年以上保護監視員を務める高田正義さん(87)は「砂浜は年々減っている。今年は流木やごみも多く、カメが上陸できる場所は少なかった」と話す。NPO法人日本ウミガメ特に関心する母ガメがたまたま少ない年だったかもしれない。引き続き来年、再来年の数を見ていきたい」と話す。

上陸したアカウミガメの足跡。産卵をせずに海に帰ることも多い11月、御前崎市



- ①アカウミガメの産卵期はいつですか。( 5〜8月 )
- ②グラフから見て、御前崎市のウミガメの上陸頭数はどのような傾向があると言えますか。

( (例) 多い年と少ない年の変化はあるが、全体として減少傾向にある。 )

- ③2021年のウミガメの上陸が過去最少だった要因として考えられることを記事から読み取って書きましょう。

( (例) 卵を産むことができる砂浜の減少や産卵周期が影響したのではない。  
流木やゴミが多く、カメが上陸できる場所が少なかったのではない。  
産卵する母ガメがたまたま少ない年だったのではない。 など )

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／理科、総合)